

道路事業

主要地方道 栃木二宮線 大光寺橋工区

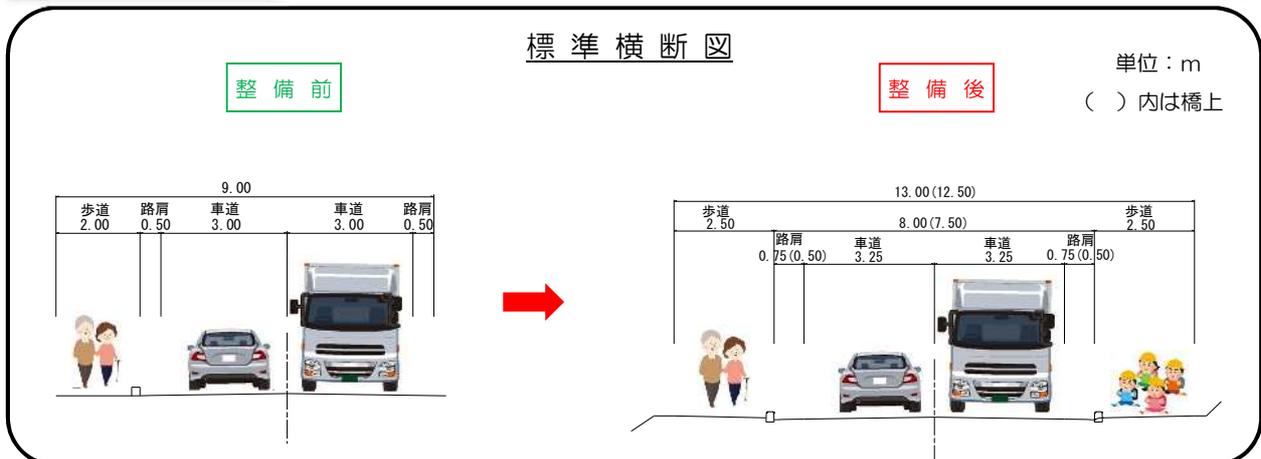
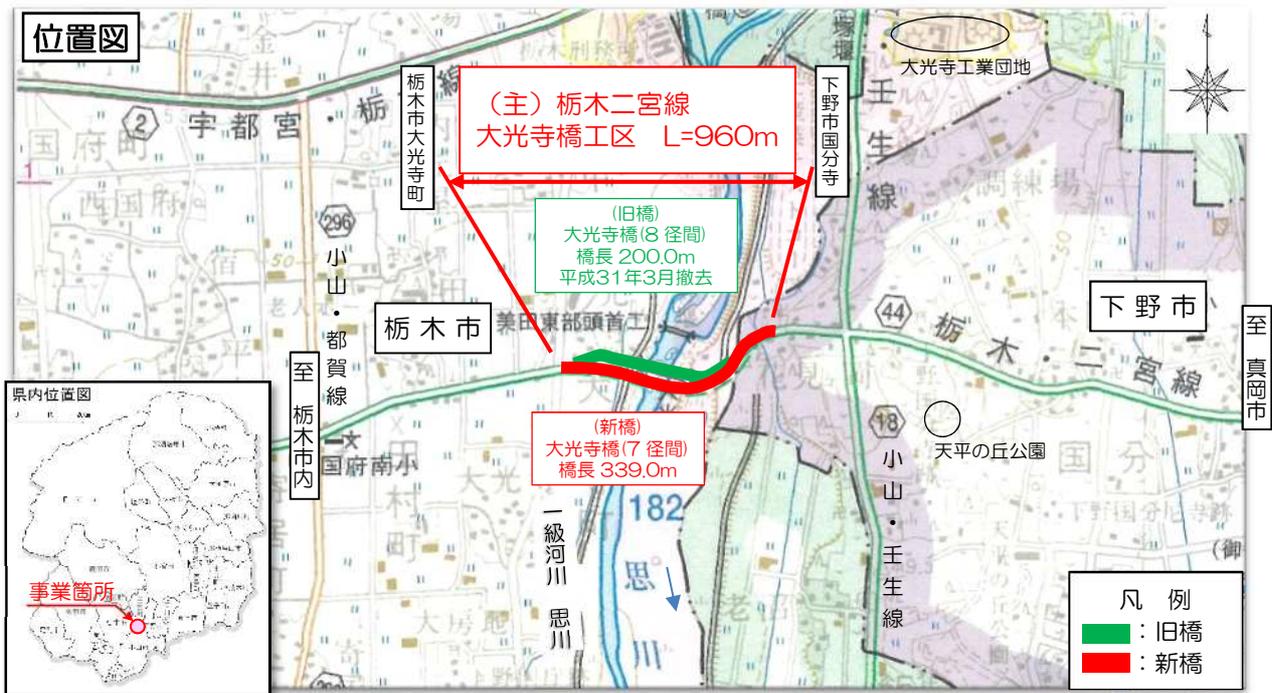
(平成28 (2016) 年3月 供用)

1. 事業概要

主要地方道栃木二宮線は、栃木市を起点とし、真岡市の旧二宮町に至る主要な幹線道路であり、県南地域の社会経済活動はもとより、沿線地域の日常生活を支える重要な路線である。また、災害時における応急活動や物資等の輸送を確保する第2次緊急輸送道路に指定されている。

しかしながら、一級河川思川に架かる大光寺橋は、昭和36年の架設より半世紀以上が経過し、床版や橋桁のコンクリートが老朽化していることに加え、河床の低下により橋脚基礎が露出している状態にあり、過去の増水時には通行止めとなるなど、安全な交通に支障を来している状況にあった。

このため、栃木県では、老朽橋の架替、交通の安全確保、緊急輸送道路ネットワークの強化を目的として、平成21年度から大光寺橋の架替事業に着手し、平成28年3月に供用を開始した。

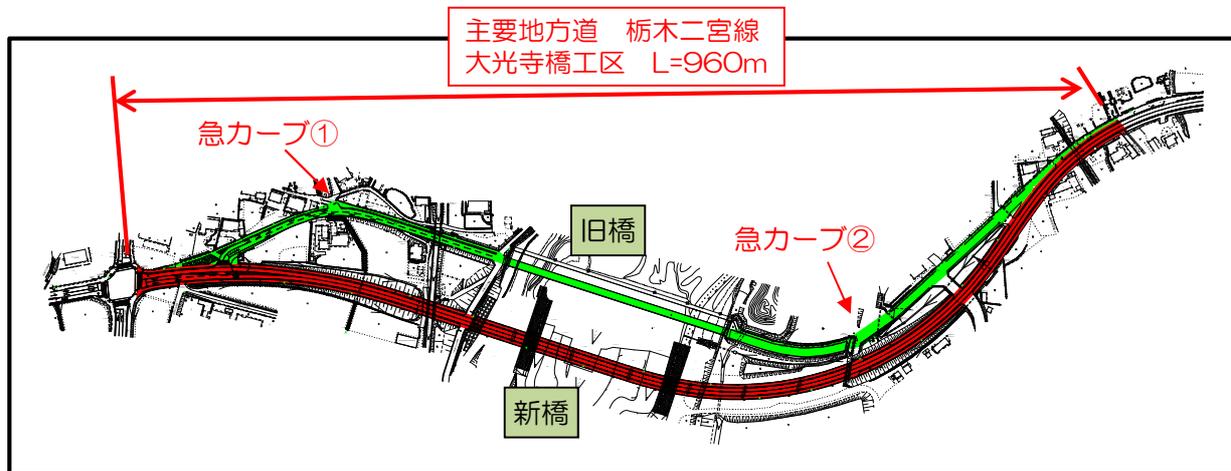


② 線形改良による交通の安全確保

1) 大光寺橋前後の急カーブが解消されたことにより、安全な交通が確保された。

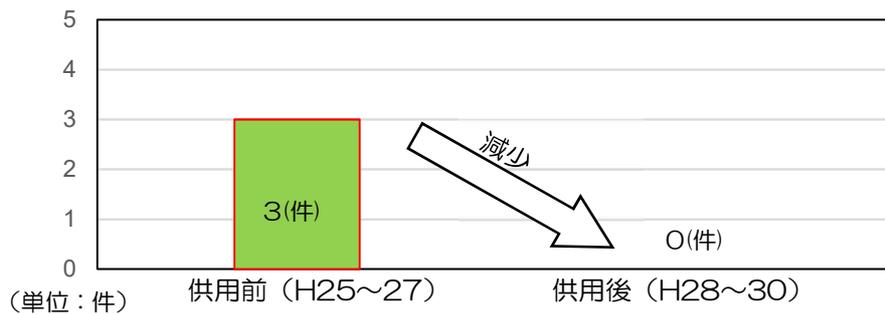
急カーブ① 整備前 $R=90$ ⇒ 整備後 $R=450$

急カーブ② 整備前 $R=110$ ⇒ 整備後 $R=270$



2) 事業区間の交通事故件数が減少した。

<交通事故件数の推移>



③ 緊急輸送道路ネットワークの強化

1) 橋梁の安全性確保により、災害時における通行規制のリスクが低減した。

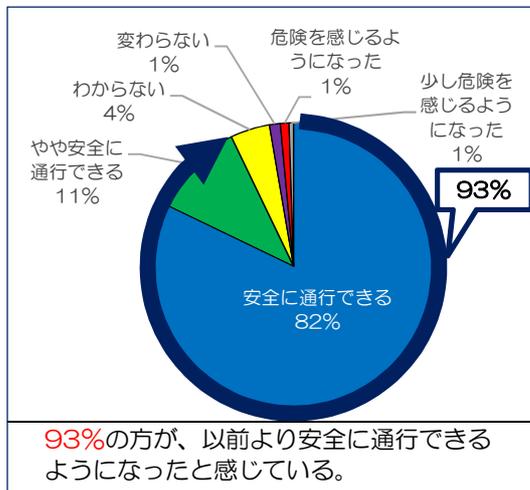
2) 令和元年台風第19号においても、通行規制が行われることなく、緊急輸送道路としての機能が果たされた。

4. 地元の声・アンケート結果

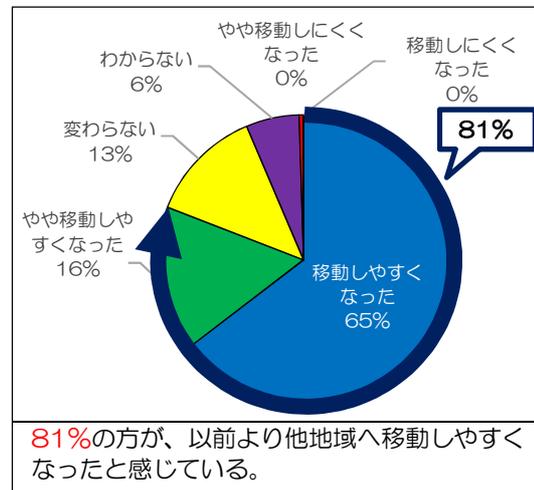
主要地方道栃木二宮線大光寺橋工区の整備効果を検証するため、地域住民や企業等のほか、沿道のコンビニエンスストアへの来訪客にアンケート調査を実施した。

(回答数/配布数：411/640件 回答率 64.2% ※有効回答数は設問により異なる。)

(1) 通行の安全性



(2) 移動の円滑化



自由意見

- ◇ 新しい道路は見通しもよく、安全に通行する事が出来るようになり安心である。
- ◇ 橋は新しくなり、安心して渡れるようになった。以前は、増水していると渡るのが怖かった。
- ◇ 道路が広くなり安全に通れるようになった。ダンプとのすれ違いも怖くなくなった。
- ◆ 新しい大光寺橋により道路が良くなりスピードを出していく車が多くなった。
- ◆ 新しい大光寺橋の両側のカーブがもう少し緩いともっと走りやすいと思う。

5. 今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

本事業により、①橋梁架替による安全性の確保、②線形改良による交通の安全確保、③緊急輸送道路ネットワークの強化等、様々な整備効果が発現しており、道路利用者のアンケート調査からも事業の目的を達成する効果を確認できた。

一方、アンケート調査で意見のうち「スピードを出していく車が多くなった」などの交通ルール違反については、交通管理者に情報提供する。

6. 同種事業への反映

本事業においては、老朽橋の架替や道路線形の改良により、橋梁の安全性向上や交通の安全確保など十分な効果を確認することができた。

今後とも、橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、計画的な修繕・更新等に努めていく。



栃木県 県土整備部 道路整備課

TEL : 028-623-2410 FAX : 028-623-2417

HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>

E-mail : doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp

VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ